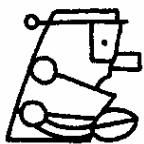


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /  
人と動物の体 / 理解シート

## サルやウシなどにも、血液型があるの



せぼね  
背骨がある動物なら、たいてい血液型があるそうだよ。  
人間と同じではないけどさ。

### たいていの動物の血には、血液型がある

人間の血液は、<sup>エービーオー</sup>A B O式という分類法で、<sup>エー</sup>A型、<sup>ビー</sup>B型、<sup>エービー</sup>A B型、<sup>オー</sup>O型などに分けられます。人間以外の動物の血液も、調べてみると、A B O式で分けることができます。

人間によくにているのは、サルのなかまでです。チンパンジーにはA型とO型、ゴリラやオランウータンにはA型、B型、A B型がいます。また、たいていの動物が、B型であることもわかってきています。しかし、分類すればA型やB型に入るということであって、同じA型やB型といっても、少しずつちがいます。

たとえば、ヒトとほぼ同じB型の動物には、オランウータンやカメ、カエルが入ります。ヒトより少し弱いB型には、ウサギ、イヌ、ネコ、ウシ、ブタ、ラッコ、カンガルーなどが入ります。わずかにB型というグループには、ヤギ、タヌキ、クマ、ラクダ、ゾウなどがいます。ただし、同じB型だからといって、人間の輸血に使ったりはできません。

### 血液型の研究材料に、ブタなどが使われている

ブタは血液型の9割がA型で、ブタの胃のねんまは、A型の研究材料として売られています。カメの赤血球はB型の研究材料、食用ガエルは、A B型の研究材料としてよく使われています。

ウシやブタなどの家畜には、それぞれの種類により、たくさんの血液型があり、親子であるかどうかを調べたりするのに役に立っています。

サルも、血液型のうらないができるのね。

